

[連載]第25回 清々しき人々

幕末から明治に多才な能力を発揮した 福士成豊 月尾嘉男 (東京大学名誉教授・工学博士)



函館市中央図書館

福士成豊 (1838-1922)

戦争を左右する気象情報

古来、気象条件が勝敗を左右した戦闘は多数存在します。日本の有名な事例は...

「文久の役」も日本は劣勢でしたが台風が海上の船団を翻弄したため、元軍は多大の犠牲を支払って退却しました...

二〇世紀になると、気象情報は一層重要になります。ナチスドイツを一気に劣勢にしたのは一九四四年六月に決行されたノルマンディ上陸作戦ですが、連合国軍は上陸舟艇で敵前上陸するために、月明、潮汐、潮流、風速、風向などを綿密に検討し、当初は六月五日に決行をしましたが、四日から気圧が急速に低下したため、直前に延期されました。結果は正解で、五日は大荒れとなり、決行していれば成功しませんでした(図2)。

船大工として登場

蝦夷地と名付けられていた江戸時代の北海道は少数のアイヌの人々が生活している土地でしたが、渡島半島南部は蠣崎一族が支配していました。しかし一九世紀初頭からロシア帝国が南下政策によって進出してきたため、幕府は全域を直轄の天領とするようになりました。その中心は蠣崎一族が拠点としていた箱館で、高田屋嘉兵衛の活躍などにより繁栄し、さらに一八五四年の日米和親条約によって箱館は高田屋嘉兵衛に雇用されていた船大工です。成豊は五歳になったとき、箱館の回船問屋を経営する福士長松の養子となりましたが、父親の造船の仕事を手伝って成長します。一八五五年の

函館開港を契機に、函館奉行堀利熙は大型商船の建造を豊治に依頼します。そこで豊治は成豊とともに従来の和船ではなく、竜骨と肋骨をもつ洋式帆船を建造します。最初和洋折衷の帆船を試作しますが、一八五七年八月に完成したのが日本人により最初に建造された五六トンの洋式帆船「箱館丸」でした(図3)。日本人によりという前置きには理由がありますが、一八五四年の年末に日露和親条約の締結交渉のため、伊豆半島の下田にロシア軍艦「ディアナ」が停泊していました。ところが二月二日に発生した安政東海地震で大破し、半島の西側の戸田に回航しようとして沈没してしまっています。そこで艦長のJ・ブチャーチンが戸田で船を建造して帰国しようとして決意し、葦田代官の江川英龍と勘定奉行の川路聖謨の監督のもと、ロシアの乗員が設計した全長二五メートル、約一〇〇トンの洋式帆船を建造します。作業は戸田の船大工が実施し、建造開始から三ヶ月後の一八五五年四月に無事進水しました。この「ヘダ号」と名付けられた木造帆船が日本で建造された最初の洋式帆船とされています。「箱館丸」より一年半前の



図1 元寇(蒙古襲来合戦絵巻)

図2 ノルマンディ上陸作戦

「ヘダ号」は日本で最初に建造された洋式帆船ですが、設計も建造もロシア船員の手導で実現したものです。しかし「箱館丸」は外国帆船を参照したものの、統親が中心になって建造したという特徴があります。この帆船二本で全長三〇メートルの帆船は見事な仕上がりで、箱館奉行が統親などとともに箱館から品川まで試験航海しますが、途中で時化に遭遇するものの問題なく航海できました。豊治が六〇歳、成豊は弱冠一九歳でした。

ブラキストンとの出会い

この成功により、豊治は箱館御用船大工棟梁に昇進、翌年一八五八年には同型の「亀田丸」を建造しますが、この建造の中心は成豊でした。箱館の五稜郭(図4)を設計し建造した武田斐三郎は北海道初の教育機関「諸藩講所」の教授でしたが自分の生徒とともに「亀田丸」でロシアのニコライスクまで実習航海を実施しています。原型は外国船舶であるものの、それを参考に建造した洋式帆船が遠洋航海できるほど一気に技術が発展したのです。

カメムシ博士入門 安永智秀・前原諭・石川忠・高井幹夫 著 B5判 212ページ 本体 2,770円+税

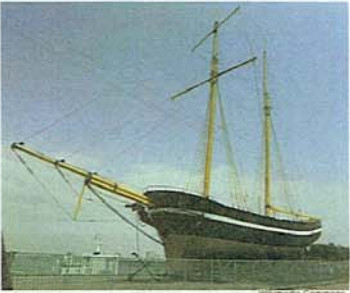
八十五歳の読居録 北田洋子 著 戦後まもなく、大阪府立大学法学部に学び、卒業後は教員になった著者が、貧乏だった学生時代から現在までの莫大な読書体験、そして人との出会いを自室の本棚・みかん箱・煙草・段ボール・作り付け等の変遷と重ね合わせ綴る。

ともにあり続けること 堂園晴彦 著 「21世紀はいのちの時代。人が人に寄り添うことで互いが救われることに気がつく時代だ」

武蔵野美術大学コレクション 博物館図譜 デジタルアーカイブの試み 荒俣宏 特別監修 寺山祐策 監修 本庄美千代 編集

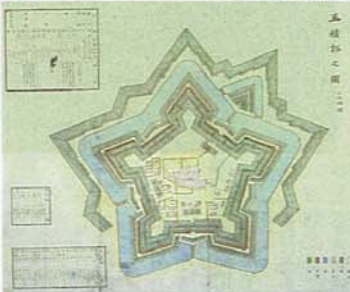


図3 復元された箱館丸



しかし成豊は、より高度な技術を取得するために英語が必...

図4 五稜郭設計図



この時期に成豊は新島襄と出会...

図5 プラキストンの碑 (函館山)



一八六八年に成立した明治政...



図6 同志社英学校

八年に本州にも出張し、大阪...

つぎお よしお 1942年生まれ。1965年...

流入してきました。そのような...



「蝦夷の海岸と河川」という論...

月尾嘉男の本

航海物語

書を捨てよ！海に出よう！

効率的現代社会を忘れさせる魅力ある旅

人間が大海原に挑戦してきた歴史、その挑戦を支援してきた技術の歴史、さらには海洋のもつ巨大な恩恵を紹介。

Table with 2 columns listing chapters of 'Sea Stories' (航海物語).



水の話

人類の必須の資源の物語

古いやり方と新しいやり方と... どちらを選ぶべきなのかを...

